



出初式で新年の平穏願う

紋別消防署・紋別消防団

紋別地区消防組合の消防署と紋別消防団の合同出初式が5日、同組合本部庁舎前などで行われました。署員・団員たちは厳しい寒さのなか宮川良一管理者（市長）への敬礼や、消防車両を従えての分列行進などで、きびきびとした動きを見せ、地域防災への願いを新たにしました。

屋内式では、各種表彰状の伝達・授与式が行われ、30年勤続の阿部直幸さんをはじめ延べ88人に賞記や記念品が贈られました。

宮川管理者は「はつらつとした勇姿を拝見し、地域防災万全と感じた。近年の災害は



予測できないものが多く、被害も複雑で様々。消防組織の役割はますます高まっている。住民生活の安全確保のため一層の精進を」と署員・団員たちを激励しました。

社会人としての決意新たに

成人を祝うつどい197人が門出

市などが主催する「成人を祝うつどい」が13日、市民会館で開かれました。197人が出席。晴れの門出に決意を新たにしました。

式では市長があいさつに立ち「人生の中で輝かしい日を



22チームが無差別対決

バスケットボールフェス

小学生から一般までが同じトーナメント・リーグ戦で優勝を目指す紋別ライオンズクラブカップ・市民バスケットボールフェスが、12日から14日まで3日間、スポーツセンターで開かれ、一般混合の部荒神スカラブスが優勝しました。小学生と高校生の対戦もあり、選手たちは世代を超えた熱い交流

を楽しみました。紋別バスケットボール協会恒例の行事で、年齢や性別での部門分けをしない「無差別級」の珍しい大会。例えば小学生と高校生の対戦では、小学生に有利になるような条件を設定。それでも、応援する保護者にとっては、はらはらドキドキの試合が繰り広げられました。

美しい天然の水柱を次々と

流水まつりの水像用に1万本を切り出し

第46回もんべつ流水まつり（2月8日～11日）にむけて、16日に新生の水池で、水像用の天然氷の切り出しがスタートしました。

早朝から作業員たちが凍った池の表面をエンジンカッターで格子状に切り目を入れて

迎えた皆さんは、社会人としての権利と義務をもち、その責任を果たさなければなりません。これからの人生は苦難があるかもしれませんが、自分への試練だと思ひ乗り越えてください」とメッセージを送りました。

新成人の代表5人が市民憲章を唱和し、さらに今村有人さんと関亜理紗さんが「命の尊さを自覚し、平和で明るく住みよいまちづくりを目指して努力します」と誓いの言葉を述べました。今年の対象者は男性116人、女性129人で出席率は80%でした。

いき、大型のノコギリで切り出します。最後にハサミ状の器具で、水面から一気に引き出します。

水柱はタテ70センチ、ヨコ40センチ、厚さ40センチ。今年には雪が少ないだけに、凍った雪の白濁した部分がなく、



全体が透き通っているのが特徴です。

作業は、まつり初日の直前まで続き、総計で約1万1千本前後が切り出される予定。このうちメイン水像には約4千本が使われます。

今年のメイン水像は、洞爺湖サミットにちなんで、その会場となる「ザ・ウインザーホテル洞爺」です。